

マリオンの おつきさま

ヨゼフ・ウィルコン=絵 ゲルダ・マリー・シャイトル=文 鷺沢 萌=訳





世界の絵本 マリオンの おつきさま

N.D.C.726 25p 30cm

1997年4月15日 第1刷発行

発行者／野間佐和子

発行所／株式会社 講談社

絵 ヨゼフ・ウィルコン

東京都文京区音羽2-12-21 郵便番号112-01

文 ゲルダ・マリー・シャ・イドル

電話 東京(03)5395-3534(編集部)

訳 鷺沢 朋

東京(03)5395-3625(販売部)

装幀 坂川栄治 (坂川事務所)

東京(03)5395-3615(製作部)

落丁本・乱丁本は、講談社書籍製作部あてにお送りください。送料小社負担にておとりかえいたします。

なお、この本についてのお問い合わせは、児童局幼児図書出版部あてにお願いします。

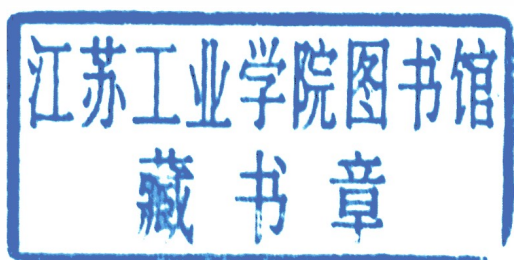
本書の無断複写（コピー）は著作権法上での例外を除き、禁じられています。

定価はカバーに表示してあります。

© Megumu Sagisawa 1997 Printed in Belgium ISBN4-06-261965-2 (児幼)

マリオンの おつきさま

ヨゼフ・ウィルコン=絵 ゲルダ・マリー・シャイトレ=文 鷺沢 萌=訳



講談社

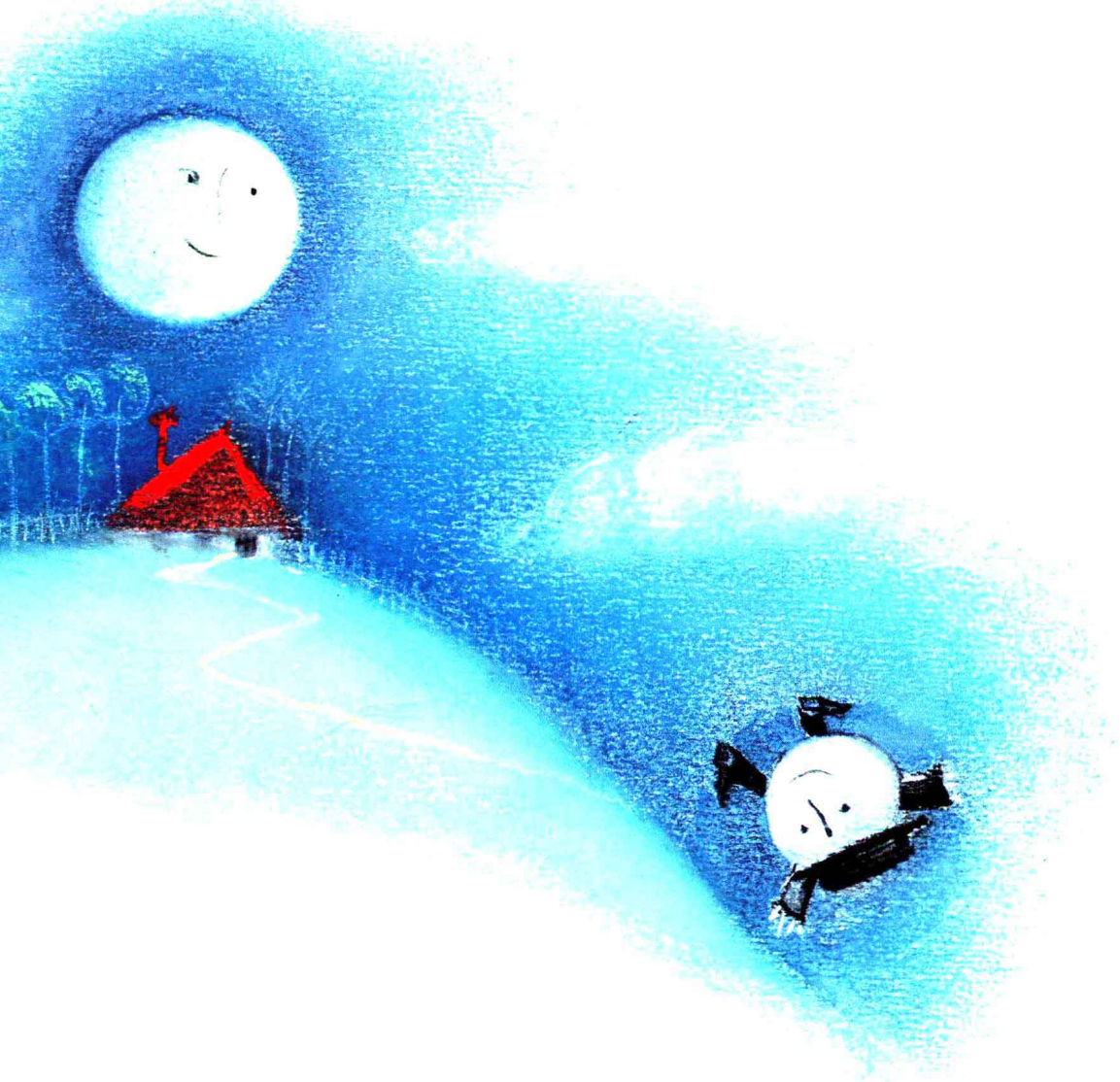


むかし、ある ところに、マリオンと いう なの おんなの こが
いました。マリオンは ある ひ、ムーン・マンの えを かきました。
おめめと おはなを つけて、にっこり わらって いる おつきさまです。
あしと うでも かいて あげました。しあげに かわいい ぼうしも
かぶせて あげました。

マリオンは、ムーン・マンの えを ベッドの うえの かべに かけました。
これで もう、たとえ ほんどうの おつきさまが くもの かげに かくれて
いる よるでも、マリオンは おつきさまの ひかりに つつまれて
ねむれるのです。たとえ ほんどうの おつきさまが ほそい ほそい
みかづきに なって しまった よるでも、マリオンは、まんまるの
おつきさまの したで ねむる ことが できるのです。マリオンは、いい
きもちに なって ねむりました。

よるも ふけて、ほんどうの おつきさまが そらに のぼりました。
こんやは まんげつ。まんまるい おつきさまが マリオンの へやの まどを
てらし、あかるい ひかりが ムーン・マンの うえにも ふりそそぎました。
「はーっくしょん！」

ムーン・マンが くしゃみを して おきだしました。



いきを すいこむと、ムーン・マンの からだが ふうせんみたいに
ふくらみました。ムーン・マンは かみを ぬけでて、ゆかを ころがり、
かいだんを ころげおちて、にわに でて いきました。

そらたかくには まんげつが ひかりかがやいて います。ムーン・マンは、
うっとりとおつきさまを みあげ、そして いいました。

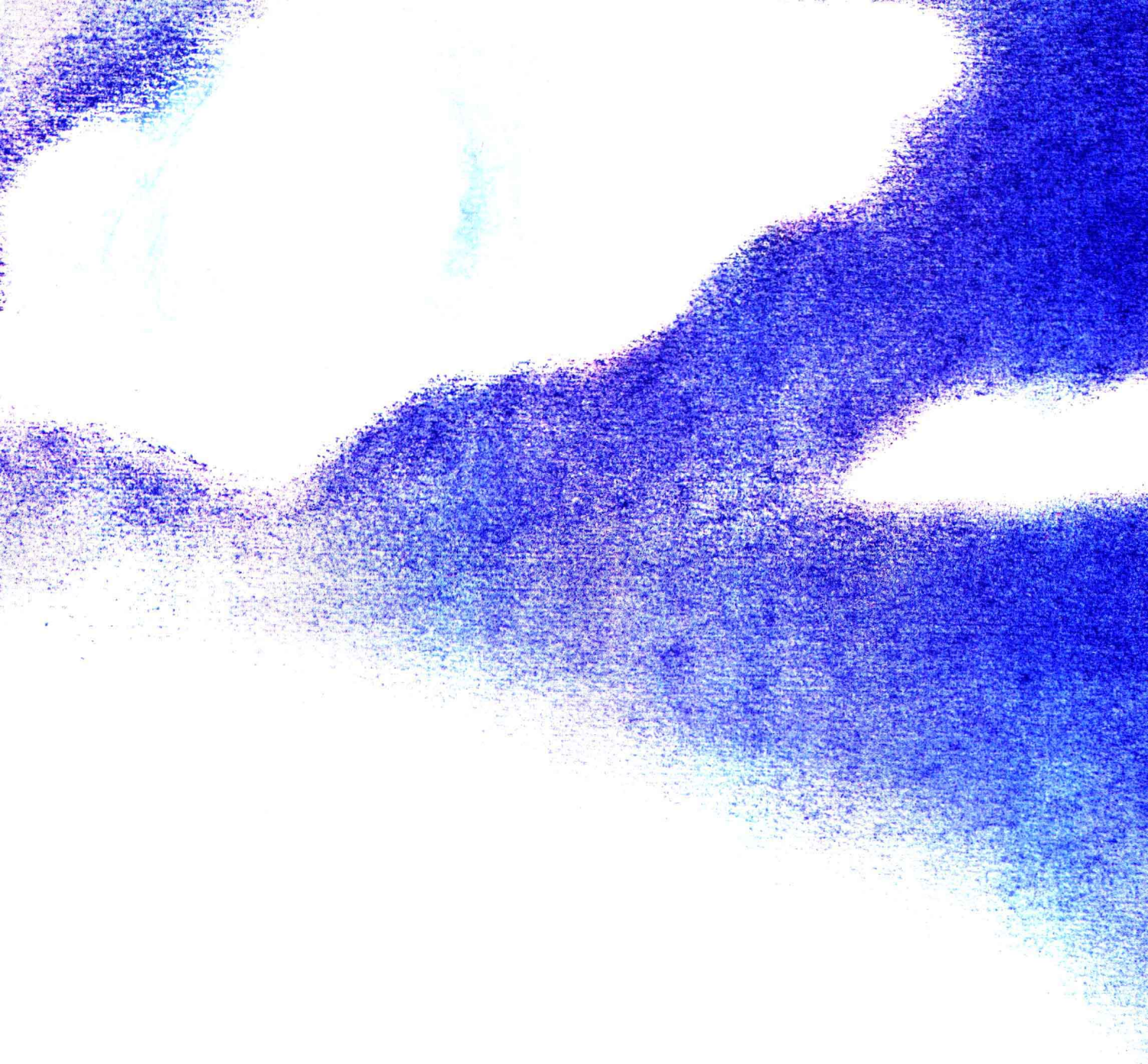
「ぼくも あんな ふうに かがやく ことが できたらなあ！」

すると、それを きいて いた ねこが いいました。

「かんがえても みろよ。ほんどうの おつきさまは あそこに いるんだぜ。
きみは ただの にせものだよ。かがやく ことができるのは ほんどうの
おつきさまだけさ。」

それから、ねこは にゃーおと ないて、つまさきだちで やねの むこうへ
いって しまいました。





ムーン・マンは、かなしい きもちに なって あるいて いき、つきの
ひかりに つつまれた おかに のぼりました。ほんどうの おつきさまが
ムーン・マンを てらします。ムーン・マンは うれしく なって、
ぴょん ぴょんと とびはねました。

「この ひかりを てで からだに すりこめば、ぼくだって そらに いる
おつきさまみたいに かがやけるんだ！」

ムーン・マンは そう かんがえたのです。

けれど おつきさまは、その とき、くもの かげに かくれて
しまいました。





くらがりの なかから、3にんぐみの どろぼうが あられました。

「おい、みて みろよ。そらの おつきさまから だれかが おっこちてきたぜ。」

どろぼう3にんぐみは ムーン・マンを ひっつかまえました。

「こいつが いれば、もう あかりには こまらない！」

どろぼう3にんぐみは ムーン・マンを ガラスの ランプに とじこめて、めいれいしました。

「ひかれ！」

こわかったけれど、ムーン・マンは どう すれば ひかる ことができるのか しらなかったので、ただ にこにこ わらうだけでした。

とつぜん、ほんとうの おつきさまが くもの かげから すがたをあらわし、まどごしに あたりを てらしました。



「おや、ちょっと までよ。」

どろぼうの ひとりが いいます。

「おまえ、にせものだな！」

3にんぐみが ランプを ゆかの うえに ほうりだしたので、ガラスが
こなごなになりました。ムーン・マンは、どろぼうたちの さけびごえの
なかを すりぬけて にげしました。



ムーン・マンは、かわに かかった ながい ぎんいろの はしの
ところまで やって きました。ムーン・マンは、その はしが つきの
ひかりで できて いる ことを しりません。きを つけて、ムーン・マン！
ほんどうの おつきさまが また くもの かげに かかれて、はしは
なくなって しまいました。ぽちゃん！ ムーン・マンは かわに おちて
しまいました。

うんの いい ことに、りょうしの おじさんが ちょうど かわで、あみを
ひいて いる ところでした。おじさんは、あみに ぎんいろの さかなが
かかったのだと おもいました。ムーン・マンの すがたを みると、
おじさんは とても びっくりして、あわてて おうちに かえりました。

「おーい！ おつきさまを つかまえたぞ！」

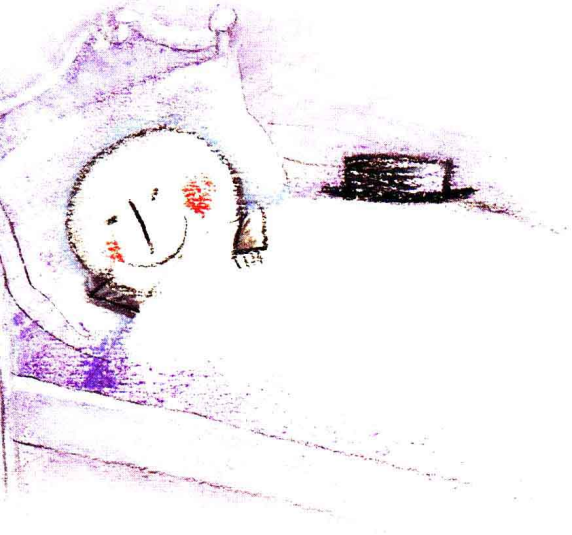
りょうしの おじさんの こえを きいて、おかみさんは いいました。

「でも これ、ひかって ないわよ。おつきさまなんかじゃ ないわよ。」

「かわに おちて ぬれてるから ひからないんだ。」

そこで、りょうしの おじさんと おかみさんは、ムーン・マンを そとに
ぶらさげて かわかし、それから ムーン・マンを ベッドに おしこみました。





ベッドの なかで、ムーン・マンは ねた ふりを して いましたが、
ほんとうは かんがえごとを して いました。

「おじさんや おかみさんは、ほんとうの おつきさまが でて きたのを
みたら、ぼくが そらに かえったんだと おもうだろう。」

ムーン・マンは、りょうしの おじさんたちを がっかりさせたく
なかったので、そこから にげだしました。



ムーン・マンは はしって はしって、まちの なかを とおりぬけました。
ずーっと はしりつづけて、いきどまりの かべに あたって やっと
たちどまりました。その とき、おかしな おどが きこえて きました。
うなって いるような、ほえて いるような、おこって のどを ならして
いるような おとです。ムーン・マンは、おそろしきに ぶるぶる ふるえて、
にげだそうと しましたが、もう おそかったのです！

だれかが ムーン・マンの えりくびを つかみました。ムーン・マンは
あっと いう まに、どうぶつえんに とじこめられて いました。

